

授業科目名・形態	医療と福祉の英語	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	佐藤 公彦	開講期	4年後期	単位数	2

### 【授業の主題と目標】

現代のICT(Information Communication Technology)化社会の医療は英語を基盤としています。良い社会人および優れた医療専門職 medical professional となるには日本語と英語とのリテラシー (literacy、読み、書き、ソロバン) が求められます。この演習の前半では看護、福祉領域の基礎的/基本的な文献を鑑賞します。後半では、英文専門誌、The British Journal of Social Work と Research in Nursing & Health の論文を輪講形式で学びます。

### 【到達目標】

1. 「History of Care」の冒頭の英文読解により介護の哲学の源流を理解する。
2. What is stress?を読み、看護、介護におけるストレスを理解し適切な対処法を知る。
3. 英文専門誌の読解力を身に付ける。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 「History of Care」の The Myth of Cura (クーラ Cura のお話)を読解する。  
クーラ Cura はギリシャ神話の介護 Care の神です。
- 第2回 マンガはじめて読む「ギリシャ神話」豊田、宮城著(日本語の)を読み、ギリシャの神々の全体像を知る。また、(クーラ Cura のお話)日本語解説文を幾つか読む。
- 第3回 上記のアプローチによりギリシャ神話に見る西欧の介護の源流を理解する。
- 第4回 「What is stress?」(p.8)を読み、看護、介護のストレスとは何かを理解する。
- 第5回 Illust(マンガ)の解説文から国外の看護、介護の状況を知る。
- 第6回 Coping strategies(p.17)を読み、ストレス克服法を理解する。
- 第7回 図書館で Research in Nursing & Health および The British Journal of Social Work の中から適当な英文論文を探す。
- 第8回 前者論文の Abstract/Introduction を読解する。
- 第9回 Result 部分を読解する。
- 第10回 Discussion/Summary 部分を読解する。
- 第11回 理解の難しい部分、問題点を総合的に検討する。
- 第12回 後者論文の Abstract/Introduction を読解する。
- 第13回 Result 部分を読解する。
- 第14回 Discussion/Summary を読解する。
- 第15回 これまでに学んだ演習課題を総合的に検討する。

【授業実施方法】 講義および輪講形式

【授業準備】 英文読解が中心のため、特に予習する必要はありません。

【教科書等】 “History of Care” by Warren T. Reich (Georgetown University, 2007) と Nurses\_Stress\_Management Booklet, NSW(New South Wales) Nurses’ Association 発行の pdf file を配布します(無料です)。

【参考文献】 同上。

### 【成績評価方法】

レポート、考察、討論を含めた英文読解能力(80%)と授業態度(20%)で評価します。

### 【学生へのメッセージ】

日本は西欧文化の多く(殆ど全て)を日本語に翻訳して取り入れています。したがって、英語の知識は通常の communication のみでなく、特に、専門分野においても必要とされます。近年、教養 Liberal Arts の重要性が指摘されていますが、本演習により看護介護医療の多くの専門用語を理解し Intelligence を深めると良いのではないのでしょうか。